

第1学年*組 美術科学習指導案

指導者 大輪 一恵

1 題材名 自分の言葉で表現しよう～「美しさ」の伝え方～

2 題材の目標

自分の身の回りにある自然物や人工物に関心をもち、形や色彩などから、造形的なよさや美しさを感じ取り味わう。

3 題材設定の理由

本題材は、自分の身の回りにある自然物や人工物を鑑賞し、造形的なよさや美しさを味わうものである。中学校学習指導要領解説美術編（平成20年9月）の内容「B 鑑賞」（1）のアには、「作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること」と示されている。本題材では、自分が美しいと感じるものを鑑賞の対象として、思いや考えをもちやすくなり、そのことを説明し合いながら、見方や感じ方を広げることができると考える。

本学級の生徒は、美術の授業に意欲的に取り組んでいる。しかし、鑑賞活動では、意欲が停滞してしまう生徒が少なくない。鑑賞したことの記述を見ても、上手や下手、好きや嫌いという簡単な捉え方のみで終わってしまう状況が見られる。鑑賞に関する意識調査（平成26年6月12日実施、調査人数34人）を行ったところ、どうしてその作品がよいのかよく分からないと考えている生徒が10人、自分の意見を書いたり、発表したりすることが難しいと考える生徒が15人と、鑑賞活動において、作品等のよさや美しさを感じ取ることや、自分の思いや考えを説明することに課題があることが分かった。

そこで、本題材では、まず、生徒一人一人の関心や意欲が高まるように、自分の身の回りにあり興味・関心がもてる自然物や人工物を鑑賞の対象とする。このことによって、生徒は、自分なりの感性を働かせながら、対象物を選び、鑑賞をできると考える。次に、ワークシートを活用しながら、〔共通事項〕を視点に、かいたり伝え合ったりする鑑賞活動を行う。ワークシートには、自分が美しいと思うことの根拠について、形や色彩の特徴などを基に記入し、思いや考えを明確にする。また、相互鑑賞をする際には、学習形態を工夫して、ペアからグループ、そして全体での話合いへと段階的に行うことで、自分が考える美しさについて根拠を明確にしながら伝え合うことができるようになる。さらに、学習過程を工夫して、生徒の学習状況の観察とワークシートの記述を基にした評価を行い、座席表に記入して把握することで、次時への学習指導に生かせるようにする。

以上のように、思いや考えを明確にするワークシートの活用と学習形態の工夫を通して言語活動の充実を図ることや、生徒の学習状況を把握し評価したことを指導に生かす工夫をすることで、生徒の思考力・判断力・表現力を育むことができると考え、本題材を設定した。

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①身の回りにあるものの造形的なよさや美しさに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。	①自分の身の回りにあるものの形や色彩などから、そのよさや美しさを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。
②身の回りにあるもののよさや美しさについて、形や色彩などの視点から主体的に感じ取ろうとしている。	

5 指導と評価の計画（2時間扱い）

時	○ねらい・学習活動	評価規準	評価方法、留意点等
1	○身の回りにあるものから、鑑賞の対象とするものを選ぶ。 ・何を鑑賞の対象とするか考え、その根拠をワークシートに記入する。	関①	関①観察やワークシートの記述から、関心や意欲がもてない生徒を見取り、生活の場面や自分が好きなもの等から考えるように促す。 (観察、ワークシート)
2 本時	○鑑賞の対象のもつよさや美しさについて、根拠をもって伝え合う。 ・鑑賞の対象としたものについて、自分の考えや感じたことをワークシートに記入する。 ・ペアやグループになり、お互いの思いや考えについて話し合う。 ・実物投影機を使った発表を聞き、友人の思いや考えについて知る。 ・話合いや友人の発表から、感じたことや、自分が思う美しさについて、ワークシートにまとめる。	関② 鑑①	関②観察やワークシートの記述から、関心や意欲を見取り、生徒が選んだ鑑賞の対象について教師の考えを伝えることで、生徒が自信をもって取り組めるようにする。 (観察、ワークシート) 鑑①自分の考えを、根拠に基づいて書いたり伝えたりすることができない生徒を見取り、〔共通事項〕の視点から美しいと思う根拠について考えられるように支援する。 (観察、対話、ワークシート)

6 本時の学習（第2時）

(1) 目標

自分の身の回りにある自然物や人工物の形や色彩などから、そのよさや美しさを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わうことができる。

(2) 準備・資料

教師…ワークシート、実物投影機、ペア・グループ分け一覧

生徒…自分が美しいと思うもの、筆記用具

(3) 展開

学習活動・内容	・指導上の留意点、○評価（A：具体例、C：手立て）
1 本時の課題を知る。 自分の感じる美しさを、自分の言葉で表現しよう。	・前時のワークシートを基にして、鑑賞の対象が同じ人や似た人でペアを作ったことを伝える。 ・各自で準備したものについて、ペアとグループになって説明し合うことを伝える。 ・話し合う際のポイントを黒板脇に掲示し、迷った時に確認できるようにする。 ・ワークシートには、美しいと思う根拠を実線の吹き出しに記入し、話合いの中で新たに気付いたことなどを点線の吹き出しに記入することを説明する。 ・自分の考えを文章にまとめることができない生徒には、前時のワークシートを使い、考えを整理してから記入するよう促す。 ・友人に自分の考えをどのように伝えるかを、〔共通事項〕の視点を意識して考えることを確認する。 ○自分が選んだもののよさや美しさについて、形や色彩などの視点から主体的に感じ取ろうとしている。 (観察、ワークシート)
2 対象について話し合う。 (1) 対象について、自分の思いや考えたことをワークシートに記入する。 (2) ペアになり、自分の対象に対する考え方を話し合う。 (3) 話合いで新たに気付いた表現や言葉を使い、ワークシートに記入する。 (4) グループになり、お互いの対象に	A：友人と積極的に話し合うことで、対象としたものの美し

	<p>について話し合う。</p> <p>(5) 実物投影機を使った全体への発表を聞き、友人の考えを知る。</p>	<p>さについて主体的に感じ取ろうとしている。</p> <p>C : 生徒が選んだ鑑賞の対象についてよさを認めて伝えることで、生徒が自信をもって取り組めるように支援する。</p> <p>◎自分の身の回りにあるものの形や色彩などから、そのよさや美しさを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。 (観察、ワークシート)</p> <p>A : 友人が選んだ対象の形や色彩などから、そのよさや美しさを多く感じ取り、自分の思いをもって味わっている。</p> <p>C : 生徒の話を聞きながら、美しいと思う根拠について、形や色彩、材料などの視点から根拠を考えられるように支援する。 (観察、ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話合いや発表から、自分の選んだものが美しいと思う根拠についてもう一度振り返り、よさや美しさについての自分の考えをワークシートにまとめるよう促す。 ・ 本時の成果を認め、学んだことをこれからの学習に生かしていくように話をする。
3	話合いや発表から感じたことや、自分の思いや考えなどをワークシートにまとめる。	
4	本時の学習を振り返る。	